



H.Suga

THE FUKUSHIMA KINEN

第60回 農林水産省賞典 福島記念 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 574,000円 164,000円 82,000円



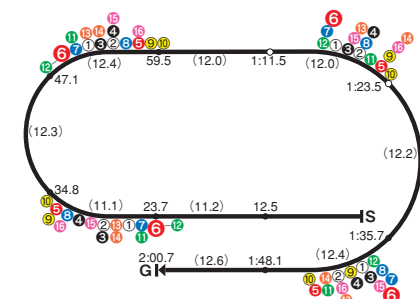
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

3歳以上、2023.11.11以降2024.11.3まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2024.11.10 福島 晴・良 芝2000m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	アラタ	牡 7	57.5	大野拓弥	2:00.7	15-15-14-10	36.3	474(+4)	12.6⑦	和田勇介(美浦)	110
2	①	フェアエールング	牝 4	52	丹内祐次	1	12-11-13-10	36.8	444(-10)	11.2⑥	和田正一郎(美浦)	97
3	⑩	ダンディズム	騾 8	57	三浦皇成	½	13-13-6-3	37.2	476(+8)	7.0③	野中賢二(栗東)	106
4	⑤	クリノプレミアム	牝 7	55.5	松岡正海	アタマ	2-3-2-2	37.3	484(+)	28.9⑩	伊藤伸一(美浦)	103
5	③	ショウナンマグマ	牡 5	57	柴田善臣	クビ	10-11-10-5	37.0	508(-10)	49.9⑩	尾関知人(美浦)	
6	②	エンバイアウエスト	牝 5	53	津村明秀	½	8-6-7-5	37.2	510(+10)	12.8⑧	黒岩陽一(美浦)	
7	③	ドクタードリトル	牡 4	56	幸 英明	¾	8-9-10-10	37.3	460(-2)	3.7①	今野貞一(栗東)	
8	⑫	アスクワイルドモア	牡 5	54	小崎綾也	アタマ	16-16-14-14	36.8	476(+2)	163.2⑩	藤原英昭(栗東)	
9	⑦	タガノバッション	牝 6	52	吉田隼人	2½	13-13-14-14	37.3	480(+4)	59.1⑩	武幸四郎(栗東)	
10	④	フライライクバード	騾 7	57	西村淳也	¾	6-6-7-8	37.9	456(±0)	5.0②	福永祐一(栗東)	
11	⑮	シーズンリッチ	牡 4	56	亀田温心	2½	7-6-10-10	38.2	506(±0)	92.6⑩	久保田貴士(美浦)	
12	⑪	サトノエルドール	牝 8	56	H.ドイル	1½	10-9-2-3	38.8	472(±0)	41.9①	国枝 栄(美浦)	
13	⑩	ウインシュクラン	騾 6	55	丸山元氣	1½	1-1-1-1	39.2	456(-6)	18.6⑨	鹿戸雄一(美浦)	
14	⑮	シリウスコルト	牡 3	54	高杉史朗	¾	4-3-2-5	39.2	478(±0)	9.4⑤	宗像義忠(美浦)	
15	⑨	ギャラクシーナイト	牡 5	56	菊沢一樹	6	2-2-2-8	40.3	504(-4)	8.6④	菊沢隆徳(美浦)	
16	⑮	ベラジオソノダラブ	牡 4	53	国分優作	½	4-5-7-14	40.1	476(-2)	73.1⑩	小椋研介(栗東)	

単勝⑥1,260円(7½%) 複勝⑥350円(6½%) ①400円(8½%) ⑩270円(3½%) 枠連①-③2,680円(12½%)
馬連①-⑥7,320円(33½%) ワイド①-⑥1,940円(27½%) ⑥-⑩1,090円(11½%) ①-⑩1,700円(22½%)
馬単⑥-①14,020円(61½%) 3連複①-⑥-⑩19,070円(69½%) 3連単⑥-①-⑩125,060円(457½%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.8 - 47.1 - 59.5 49.2 - 37.2

アラカルト

- ・大野拓弥騎手は福島記念初勝利。JRA重賞は24年初勝利、通算12勝目
- ・和田勇介調教師は福島記念初勝利。JRA重賞はメイショウムラクモで制した21年レパードSに続く通算2勝目
- ・キングカメハメハ産駒はJRA重賞通算143勝目
- ・7歳馬の勝利は01年ミヤギロドリゴ以来23年ぶり、通算4回目
- ・非当選馬 2頭(プラチナトレジャー、ホウオウノーサイド)

アラタ Arata

牡 鹿毛 2017.3.16生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・村田能光氏 美浦・和田勇介厩舎
馬名意味・新しい今までにない様

バルドウィナFR系 F1-n		
キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr. Prospector
		Miesque
	マンファスIRE 黒鹿毛 1991	Last Tycoon
		Pilot Bird
サンシャイン 黒鹿毛 2009	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA
		アイリッシュダンス
	バルドウィナFR 鹿毛 1998	Pistolet Bleu
		Balioka

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×S5

INTERVIEW

吉田浩敏氏(社台ファーム事務局)

豪快な差し脚に痺れました

活躍した母サンシャインにこの父で、曇りのない血統構成という触れ込みで千葉サラブレッドセールで売り出しました。充実期を迎えたようで仕上がりは絶好と、和田勇介調教師からも聞いていましたが、豪快な差し脚に痺れました。村田能光オーナーには常日頃から牧場スタッフ一同お世話になっており、牧場全体が明るくなるような感動的な勝利でした。



JRA

キングカメハメハ産駒の本馬は4歳時に頭角を現し、1勝クラス戦からオープン特別まで4連勝、続く福島記念でも3着に追い込んだ。翌年の福島記念も3着、6歳時の金鯱賞でも3着に食い込むなど上位入着を重ねる半面、重賞の舞台では「あとひと押し」が足りない弱みも目についていたが、7月の七夕賞で7着に敗れた後、じっくりと態勢を立て直されて臨んだこの日はトップハンデの評価に違わぬ地力を発揮。三度目の参戦となった福島記念で念願の勲章を手にした。

父キングカメハメハ

北海道早来町 ノーザンファーム生産 詳細はP.6参照

母サンシャイン

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央20戦3勝(エルフィンS⁰_P、マレーシアC、愛知杯^G_{III}2着)

ジェレメジェバイト(16 牝父ワークフォースGB)中央7戦0勝、地方41戦1勝

アラタ 本馬(17 牝父キングカメハメハ)中央26戦7勝(福島記念^G_{III}、巴賞⁰_P、ケフェウスS⁰_P、STV杯、駒ヶ岳特別、金鯱賞^G_{III}3着、福島記念^G_{III}3着2回)獲得総賞金207,293,000円

グッドラベリング(18 牝父エビファネイア)中央11戦1勝

シャイニングサン(19 牝父キタサンブラック)中央3戦0勝

サングラデーション(20 牝父ドウラメンテ)中央7戦0勝、地方7戦3勝 ④

スプレッドシャイン(21 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)中央5戦0勝

ファイアーホット(22 牝父ミッキーアイル)中央2戦0勝 ④

(23 牝父ポエティックフレアIRE)

(24 不受胎)

祖母バルドウィナFR

仏、北米3勝(ペネロープ賞・仏^G₃)、06年輸入、19年用途変更

バルドヴィナ Baldovina(04 牝父Tale of the Cat)英、伊0勝、**シーリン**

グキティ Ceiling Kitty(クイーンメアリーS・英^G₂)の母、**シャンパンカ**

ラー ④(NHKマイルC^G_I、ニュージランドトロフィー^G_{III}3着)、**アー**

サーキット Arthur Kitt(チェシャムS・英I、ソラリオS・英^G₃2着)、**ア**

ーサキット Eartha Kitt(ボーディシアS・英I、サマーS・英^G₃3着)の

祖母、**ノーブルスタイル** Noble Style(ジムクラックS・英^G₂)の曾祖母

ワンカラット(06 牝父Falbrav)持込 中央5勝(フィリーズレビュー^J_{II}、オ

ーシャンS^G_{III}、キーンランドC^G_{III}、函館スプリントS^G_{III}、阪急杯^G_{III}2着、

ファンタジーS^J_{III}2着、京阪杯^G_{III}3着)、**ワントゥワン**(富士S^G_{III}2着、

京成杯オータムH^G_{III}2着、関屋記念^G_{III}2着)の母、**ワンダイレクト** ④(若

駒S・L2着、弥生賞ディーピンパクト記念^G_{III}3着)の祖母

サンシャイン(09 前出)

ジュエラー(13 牝父ヴィクトワールピサ)中央2勝(桜花賞^G_I、チューリップ

賞^G_{III}2着、シンザン記念^G_{III}2着)、ヴェールランス ④(ハケ岳特別)の母

曾祖母バリオカ Balioka

フランス産 仏2勝、障害8勝、**ベ** Baie(フィランデ賞・仏L、プシケ賞・仏^G₃2着、クレオパトル賞・仏^G₃2着)の母

三度目の正直を果らせ重賞初制覇

秋の福島開催を代表するGⅢのハンデ重賞・福島記念で主役の脚光を浴びたのは、2走前に3勝クラスを卒業したばかりのドクタードリトル。昇級初戦の京都大賞典で0秒3差の6着と、タイトルに手が届く下地は示した4歳馬が頭ひとつ抜けた支持を集め、前走のケフェウスSでオープン初勝利を飾った7歳馬フライライクバード、前年の2着馬タンデイズムがこれに続いた。とはいえ、混戦ムードに断を下したのは惑星候補の1頭と目されていたアラタ。トップハンデを課された7歳馬が「二度目の正直」を果らせて重賞初制覇を果たした。

7月に同舞台の3勝クラス特別を逃

げ切ったウインシユ克蘭が先導したレースは、平均ペースで進行。フライライクバードは先行勢を見る形で6番手、ドクタードリトルは中団馬群の後方寄りを進む。その背後につけたタンデイズムは向正面で仕掛けたサトノエドルールを追って進出を開始。馬群の外々をまくり上げ、前に迫っていた。

一方、序盤はゆっくりと運び、1、2コーナーを後方2番手で回ったアラタの大野拓弥騎手は、3コーナー手前からスパート。先に動いた面々を射程に収めて直線に向く。その直線は好位追走から抜け出しをはかったクリノブレミアムにタンデイズムが襲い掛かる形勢となったが、大外へ持ち出されたアラタは息の長い末脚を発揮して2頭を一蹴。馬群を捌いて内から追い込んだフェアエールングの反撃も寄せ付けずに勝利を飾った。

キングカメハメハ産駒の本馬は4歳時に頭角を現し、1勝クラス戦からオープン特別まで4連勝、続く福島記念でも3着に追い込んだ。翌年の福島記念も3着、6歳時の金鯱賞でも3着に食い込むなど上位入着を重ねる半面、重賞の舞台では「あとひと押し」が足りない弱みも目についていたが、7月の七夕賞で7着に敗れた後、じっくりと態勢を立て直されて臨んだこの日はトップハンデの評価に違わぬ地力を発揮。三度目の参戦となった福島記念で念願の勲章を手にした。